

農林水産省主催

「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム」開催について

いま、アジアをはじめとする経済成長を背景に、美味しさ、健康、安全を求める国際的な食に対する需要の高まりを受け、我が国の農林水産・食品産業は本格的に海外展開すべく知識産業化・情報産業化しつつあります。

『知』の集積と活用の場」は、日本がこれまで培ってきた幅広い分野の知識・技術・人材を導入・融合させ、国際競争力を高めるイノベーションを促進することで、新しい成長産業モデル創出につなげる取組とするものです。

本シンポジウムはこの取組を実現するため、各分野で活躍する民間企業、大学等の多様なステークホルダーが参画したネットワークを構築していくための第一歩として、「知」の集積と活用の場の構築に向けた検討内容を広く広報・周知し、理解と協力の輪を広げる機会として開催するものです。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

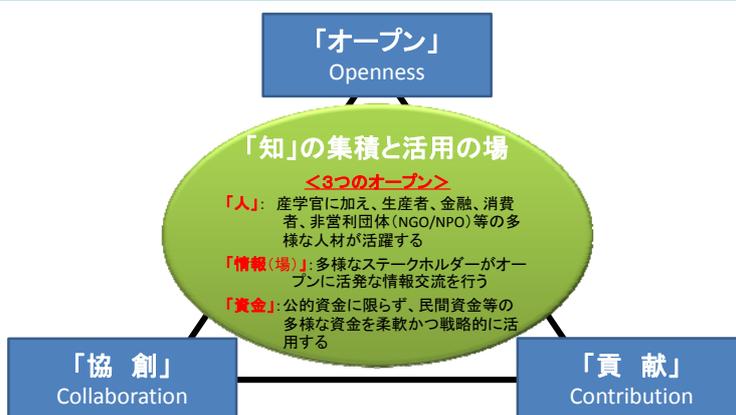
【参考】「知」の集積と活用の場とは

我が国が農林水産・食品分野においてより革新的な研究成果を継続的に生みだしていくためには、これまでの研究成果の蓄積を最大限活かしつつ、既存の研究開発の枠を越え、「オープン（Openness）」、「協創（Collaboration）」、「貢献（Contribution）」の3つの要素を備えた研究開発が求められます。

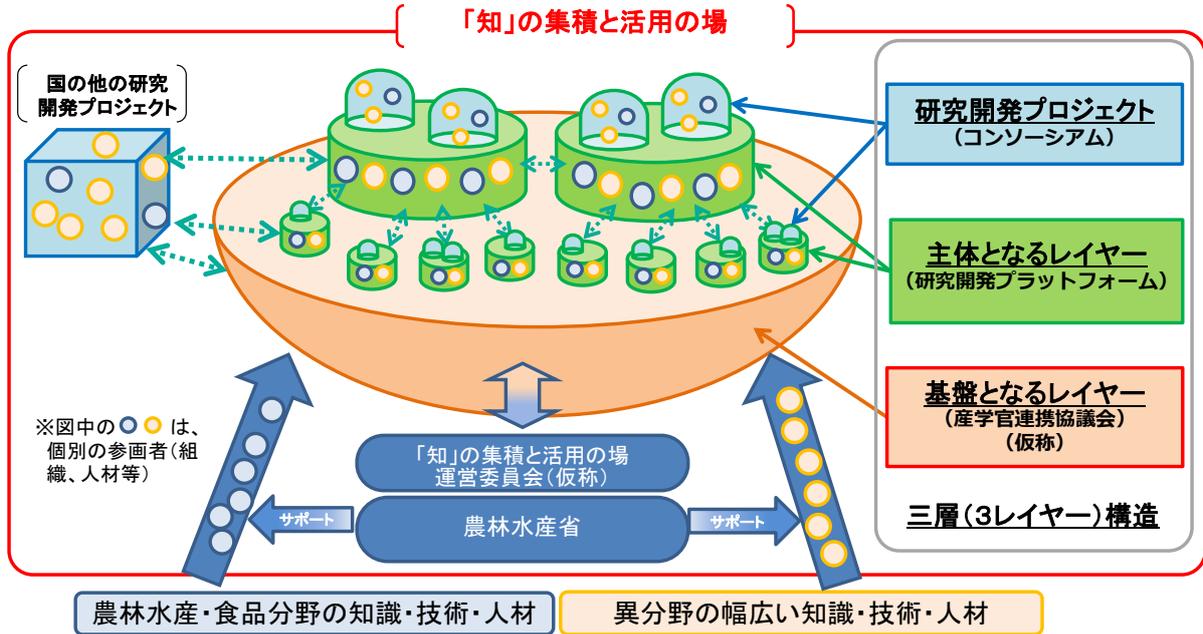
このような新たな研究開発を実現する「場」と「機会」を創出する第1歩となる、「知」の集積と活用の場づくりに向け、農林水産省農林水産技術会議事務局では、「知」の集積と活用の場の構築に向けた検討会を本年5月に設置し議論を続けてきました（詳細は、<http://www.s.affrc.go.jp/docs/knowledge/knowledge/index.htm> 参照）。本シンポジウムは、本検討会の中間とりまとめの広報・周知を目的に実施するものです（「知」の集積と活用の場の基本的な考え方や構造のイメージは下記参照）。

「知」の集積と活用の場の基本的な考え方（案）

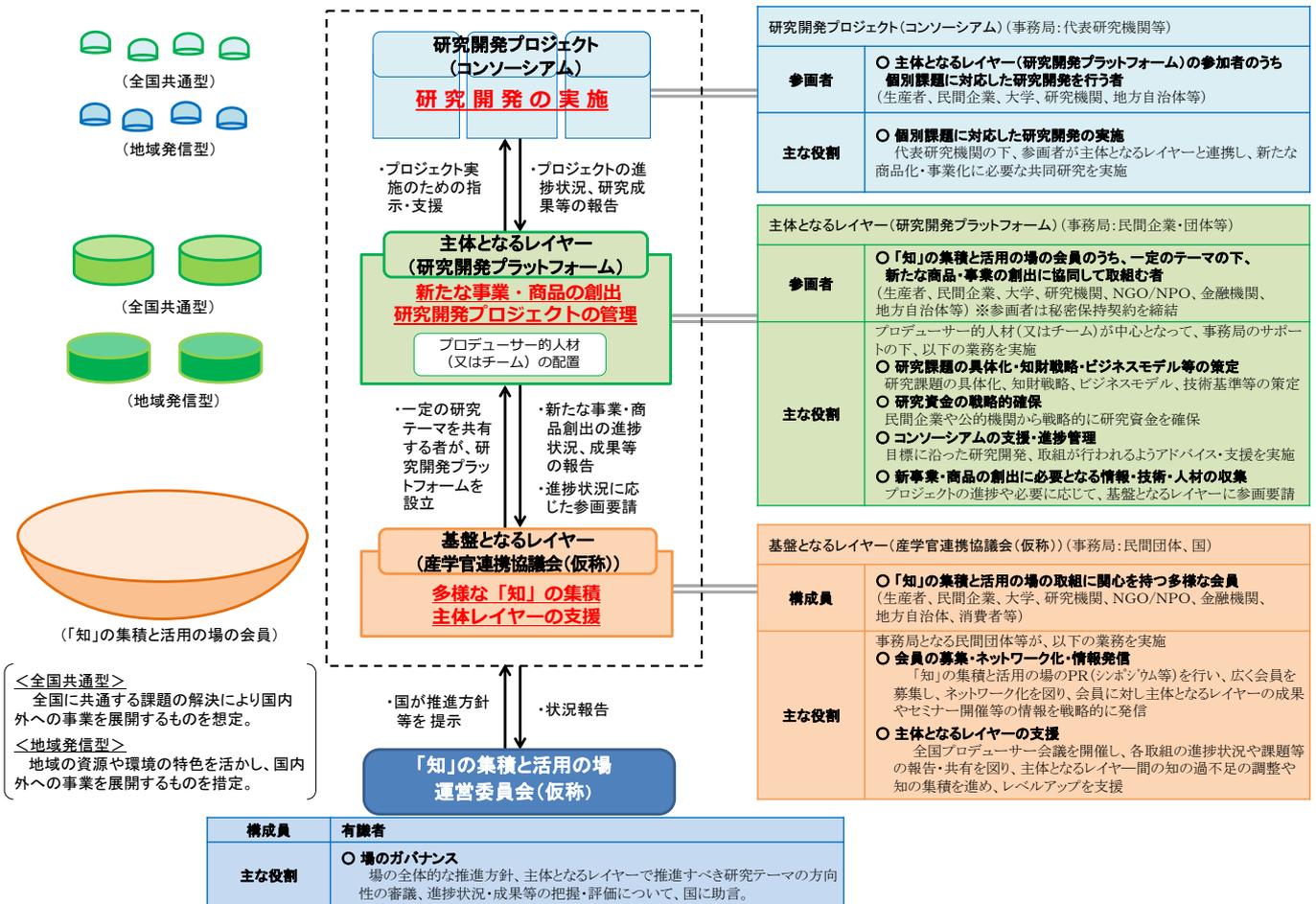
- 我が国が農林水産・食品分野でより革新的な研究成果を継続的に生み出していくためには、これまでの研究成果の蓄積を最大限活かしつつ、既存の研究開発の枠を越え、「オープン（Openness）」、「協創（Collaboration）」、「貢献（Contribution）」の3つの要素を備えた、新たな研究開発が求められる。
- このような新たな研究開発を実現する「場」と「機会」の創出の第一歩として、『「知」の集積と活用の場』づくりを進める。



「知」の集積と活用場の全体構造イメージ (案)



「知」の集積と活用場の全体イメージ (案)

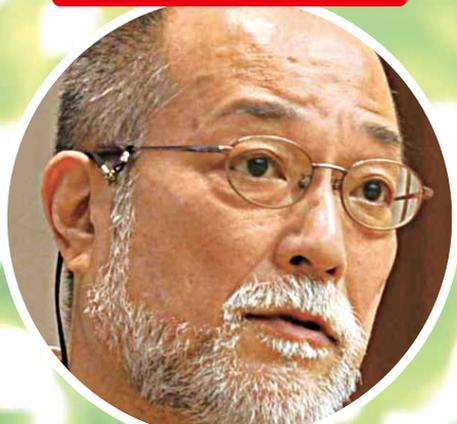


「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム

西日本 2015年10月21日(水) 15:00~18:00

会場：京都府京都市（京都劇場）

基調講演



妹尾堅一郎氏

西日本会場特別講演



國本裕氏

お申込み方法は、裏面をご覧ください

参加費無料

事前登録が必要

西日本

10月21日(水)

会場

京都劇場

京都府京都市下京区烏丸通塩小路下る
京都駅ビル内

15:00 ~ 18:00 (14:00 受付開始)

基調講演

「次世代の農林水産・食品産業を導く『知』を創る～『知』の集積と活用の場の構築：中間とりまとめを踏まえて～(仮題)」

妹尾堅一郎氏

特定非営利活動法人 産学連携推進機構 理事長 一橋大学大学院 商学研究科 MBA 客員教授
農林水産省「知」の集積と活用の場の構築に向けた検討会 座長

特別講演

「我が国の農林水産・食品産業における研究開発の現状と『知』の集積と活用の場への期待(仮題)」

國本裕氏

味の素株式会社 常任顧問(前代表取締役副社長)

パネルディスカッション

モデレーター

妹尾堅一郎氏

基調講演 講師

パネラー (五十音順)

浅見 正弘氏

富士フィルム株式会社 取締役執行役員

樋口 直樹氏

北海道大学 人材育成本部 特任教授

國本 裕氏

味の素株式会社 常任顧問(前代表取締役副社長)

山下 伸也氏

日本水産株式会社 中央研究所所長

西出 香氏

TNOオランダ応用科学研究機構

主催 農林水産省

後援 内閣府、文部科学省、経済産業省、その他関係機関(予定)

農林水産省

申込方法

■ インターネットによる参加申込

「「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム」ホームページ

http://www.jri.or.jp/sympo_chino-shuseki.htm

■ FAX による参加申込

「「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム」運営事務局 宛

FAX : 03-5275-1569 (参加申込書にご記入の上、ご送信ください。)

※ 参加者のご氏名、ご所属・肩書、ご連絡先を添えてお申し込みください。参加登録証をシンポジウム開催日までに「「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム」運営事務局からご連絡する予定です。

※ 車椅子の方、盲導犬、聴導犬又は介助犬をお連れの方、その旨をお書き添えください。なお、電話による申込みはお受けしていません。

参加申込書

平成 年 月 日

参加内容を選択 (口にレを付ける)	西日本 10/21(水)	<input type="checkbox"/> シンポジウム	15:00-18:00
		<input type="checkbox"/> 情報交換会 (会費:4,000円(税込))	18:15-20:00

※なお、情報交換会については、定員が200名程度のため、先着順で受付を致します。

フリガナ 氏名	
貴社・団体名	
所属部署・ 肩書	
住所	〒 ー
電話番号	() ー
FAX番号	() ー
E-mail	@
個人情報の 取扱い	いただいた個人情報は、本事業及び主催者（農林水産省農林水産技術会議事務局）が実施する「知」の集積と活用の場の検討や普及・啓発などに関する情報等を配信させていただく予定です。希望されない場合は、下記にチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 今後、情報の配信を希望しない。

連絡先

「「知」の集積と活用の場の構築に向けたシンポジウム」運営事務局
((一財) 日本総合研究所内)

E-MAIL : sympo_chino-shuseki@jri.or.jp

TEL : 03-5275-1615 FAX : 03-5275-1569